

## 履修案内

### 1 学習のはじめに

「履修」の本来の意味は「習い修める」ということですが、一般的には「学ぼうとする授業科目を所定の手続きを行って授業を受けること」という意味で使っています。4年間の学習計画を立てる際には、目標をしっかりと定めて、履修する授業科目を選んでください。

### 2 授業

授業期間	前期と後期の2学期制です。前期又は後期の半期で終了する授業科目と、前期・後期の通年で終了する授業科目があります。半期科目の中には週2回講義を行う科目もあります。夏期休業期間にある集中講義授業もあります。						
授業時間	1時限	2時限	昼休み	3時限	4時限	5時限	6時限
	9:00 ～ 10:30	10:40 ～ 12:10	12:10 ～ 13:00	13:00 ～ 14:30	14:40 ～ 16:10	16:20 ～ 17:50	18:00 ～ 19:30
教室	教室は授業科目ごとに設定されています。授業時間割で確認して、教室を移動して授業に出席してください。教室を変更する場合は1号館2階掲示板で連絡します。						
座席	原則として自由ですが、座席を指定する授業もありますので担当教員の指示に従ってください。 また、試験時には必ず座席を指定します。						

### 3 授業科目

教養科目	キャリア・語学・一般の教養を身につけるための科目です。
ゼミナール科目	学生が主体となり、少人数で同じテーマを研究する科目です。
専門科目	経済・経営・情報に関する分野を専門的に学ぶための科目です。

### 4 単位制

単位	「単位」は学習の量を表すもので、授業科目の種類別に設定されています。 1単位あたりの授業科目は、45時間の学修内容を標準とします。この45時間の中には、授業時間内の学修だけでなく、授業時間外で学生のみなさんが自主的に行う学修（授業の準備・予習、復習など）が含まれます。したがって授業に出席し定期試験（レポート等を含む）を受けただけで単位が認定されるわけではありません。学生のみなさんは、授業時間外にも予習、復習などの学修を自主的に行うことを求められているということを忘れないでください。
単位修得	授業に出席して定期試験（レポート・小テストなどを含む）を受験し、成績評価において合格点に達すればその授業科目の単位を修得できます。単位の修得を一般的に「単位を取る」と言います。

## 5 授業科目の履修条件

必修科目	必ず履修しなければならない授業科目。											
選択必修科目	指定された科目の中から選択し、必ず履修しなければならない授業科目。											
選択科目	自由に選択して履修する授業科目。											
推奨科目	コース別に設定してある授業科目。											
学年配当	授業科目は学年配当に従って履修してください。											
履修制限	1年間で履修できる単位数の上限 <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td>1年次</td> <td>44 単位</td> <td>3年次</td> <td>49 単位</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>46 単位</td> <td>4年次</td> <td>49 単位</td> </tr> </table> 但し、学則第29条 大学以外の教育施設等における学修（資格試験・検定試験等）における単位認定・インターンシップ・現場体験プログラム・集中講義は履修登録の上限には含めません。				1年次	44 単位	3年次	49 単位	2年次	46 単位	4年次	49 単位
1年次	44 単位	3年次	49 単位									
2年次	46 単位	4年次	49 単位									
履修取消	外部事情（例：インターンシップ受入先）が関係してくる科目やグローバルスタディ科目においては事情を考慮し（単数の履修登録者等）、履修を取消し、成績評価から除くこととします。											

## 6 進級・卒業要件

学 位	学生が課程を修了すると、次の学位を授与します。 学士（経済経営学） 修業年限は、4年間です。但し、最長8年間まで在学できます。 （休学期間は在学期間に算入しません。） *編入学、転入学、再入学は学則第15条参照。		
進 級	2年次から3年次に進級するには、ゼミナールⅠ前・Ⅰ後及び、ゼミナールⅡ前・Ⅱ後を含め50単位以上が必要です。この条件を満たさなかったとしても教育上特に必要がある場合は、教授会の議を経て学長が判断し、ゼミナールⅠ前、ゼミナールⅠ後を含め46単位以上の修得者に限り、仮進級とすることがあります。 1年次から2年次、3年次から4年次への進級条件はありません。		
卒 業	卒業条件（学籍番号14K～19K） 必要な単位は次の通りです。修業年限内に修得してください。 *必修科目、選択必修科目は「2.履修について 15.カリキュラム表（授業科目）」で確認してください。		
	教養科目	必修科目（選択必修科目を含む）16単位以上、選択科目20単位以上の合計36単位以上。	36単位
	ゼミナール科目	全て必修科目8単位	8単位
	専門科目	必修科目26単位 選択科目54単位以上 但し4年次に専門科目（選択科目）から6単位以上修得のこと。	80単位
	合 計		124単位以上

## 7 履修手続きQ & A

### Q 1 どれくらいの科目を履修すればよいのですか？

A 1 皆さんの目的・関心や意欲・得意が全て異なっているので、一般的な基準を示すのは難しいのですが1・2年次には年間履修制限上限まで履修登録し、確実に履修してください。

### Q 2 卒業要件の例えば「教養科目：36単位以上」の単位を1・2年次に全て履修しなければならないのですか？

A 2 いいえ、修業年限内に履修すれば結構です。

各自の履修計画によっては、1・2年次に教養科目の必要単位を満たせない場合もありますが、その際は3年次以降に必要な科目を履修してください。

### Q 3 同一時限に重なっている授業科目の何れも履修したいのですが、方法はありますか？

A 3 ありません。何れか1科目を選択してください。

履修できなかった授業科目を翌年度以降に履修することを考えてください。但し、翌年度以降にその授業科目が必修科目や指定クラスなどと重なって再び履修できなくなることもありますので了承してください。

### Q 4 1年次配当の必修科目を2年次に履修できますか？

A 4 可能ですが、翌年度にその科目が2年次の必修科目と重なって履修できなくなる可能性もありますので、1年次に履修して単位を修得できるよう努めてください。

### Q 5 英語Iと英語IIのような「I」と「II」、「1」と「2」の違いは何ですか？また「A」や「B」などのクラスとどのように違うのですか？

A 5 「I」と「II」、「1」と「2」はそれぞれ独立した授業科目です。

授業内容は各科目によって、連続しているものと、連続していないものがあります。また「1」の単位履修が「2」の履修の前提条件となっている授業科目もありますので、講義要項で確認してください。

「A」や「B」などのクラスは原則として授業内容が同じものとみなします。したがって、同じ授業科目の「クラス」を複数履修することはできません。

### Q 6 指定されたクラスをアルバイトの都合などで変更できますか？

A 6 指定されたクラスの変更はできません。

指定されたクラスと履修したい授業科目が同一時限に重なっていても指定クラスが優先されます。

アルバイトについては特に規制していませんが、その都合は一切考慮しません。

### Q 7 履修登録した科目の履修をやめることはできますか？

A 7 その場合は、指定された日までに教務課に申請してください。

### Q 8 集中講義とはなんですか？

A 8 集中講義は通常授業日（時間割に記載されている時間）は休講扱いとなり夏期休業中の集中講義期間に補講としてまとめて実施される授業科目です。各科目の日程は「掲示板」で確認してください。複数の集中講義科目が同一期間に実施されます。同一期間の集中講義科目は1科目しか履修できません。

### Q 9 専門コースは途中で変更できますか？

A 9 可能ですが、お勧めできません。コースは専門的な知識・技能を体系的に教育するために設けられています。したがって専門コースを途中で変更することはキャリア形成にとって不利になると思います。目標をしっかりと定めて2年次からの専門コースを選んでください。

### Q 10 授業はいつから出席するのですか？

A 10 前期と後期のそれぞれ第1回目の授業から出席してください。特に前期は履修登録の完了前であっても出席する必要があります。

## 8 定期試験及び単位の認定

受験資格	学費を納入し、授業に出席すること。その科目的全授業数の内2／3以上の出席が必要です。出席不良、学習意欲に欠けるなどの理由によって、科目担当教員が受験を認めない場合もあります。
定期試験	前期末試験と学年末試験を実施します。小テスト、口述試験、レポート等が課せられることもあります。
試験日程	試験1週間前迄に試験日程表等を掲示し、個人用の配付物を1号館2階学生ホールに配置しておきます。
レポート	手書きの場合は原稿用紙にペンで記入し（鉛筆不可）、レポート提出票を貼って教員の指示に従って提出してください。パソコンの場合はA4サイズの用紙に40字×20行で印字し、レポート提出票を貼って科目担当教員の指示に従って提出してください。
レポート提出票	教務課に常備しておりますので使用してください。
レポート提出用ポスト	レポート提出用ポストが教務課に設置しております。科目担当教員からレポートを事務室内のポストに提出するように指示された場合は、このポストに投函してください。このポストの受付時間は平日（月～金曜日）9：00～17：00です。
座席指定	試験当日、教室入口に掲示される指定座席表に従って着席してください。
学生証	机上通路側に提示してください。 <b>学生証を携帯</b> していないと受験できません。
仮受験票	学生証を忘れた場合は教務課にて仮受験票を発行できます（1科目につき300円）。
持ち込み	授業科目によっては参考文献・資料・ノートなどを参照して解答することが許可されるものがありますので、科目担当教員の指示に従ってください。試験日程表等にも持ち込みの指示が掲載されます。
机上	学生証、筆記用具及び許可された文献・ノート等以外は置かないでください。筆入れ、下敷き、鞄、コート等は机上に置かないでください。
答案用紙	いかなる場合でも答案用紙は持ち出せません。
不正行為	カンニング行為が行われた場合は、その学期に履修した全ての科目を無効とした上で、懲戒処分になります。
遅刻・途中退室	遅刻は試験開始25分以内なら許されます。途中退室は原則として試験開始後30分以降は退室しても結構ですが、試験監督の指示に従ってください。
試験態度	試験監督の指示に従わない場合は退室を命じます。
携帯電話	携帯電話は電源を切って鞄に入れておいてください。

成績評価	定期試験、課題、授業への参加・意欲等を総合的に判断し、成績評価をします。		
	合 格	S	90~100 点
		A	80~89 点
		B	70~79 点
		C	60~69 点
	不格	D	0~59 点
	失 格	定期試験受験資格なし(追試験・再試験含む)。その科目の全授業数の内2／3以上の出席がない場合、失格となる。	
GPA	<p>Grade Point Average (総合成績平均点) の略称。</p> <p>履修した全授業科目的成績を1単位当たりの数値に換算して表します。履修した授業科目ごとの成績をGP(グレードポイント)として数値に換算して、履修したそれぞれの授業科目の単位数を掛けて合計した数値を全履修単位数で割って算出します。「不合格」や「失格」評価が多いとGPAも低下します。一度登録した科目は、責任を持って履修してください。</p> <p>GPAは学生のみなさんが自身の成績の伸びや学習状況を客観的に把握するための手段です。GPAが下がっていれば、ゼミ担当教員等と相談し、なぜ下がったのかを分析し、より計画的かつ主体的な学習計画を立て、成績の向上を目指してください。</p>		

<GPA計算例>2017年度（平成29年度）まで

	成績評価	評点	G P	授業科目の単位数	G P × 単位数
科目 1	S	90 点	4	2	8
科目 2	A	80 点	3	2	6
科目 3	B	70 点	2	2	4
科目 4	C	60 点	1	2	2
科目 5	D	50 点	0	2	0
科目 6	失格	なし	0	2	0
合 計				12	20
				G P A	1.67 (=20 ÷ 12)

\*全ての授業科目が90点以上ならばGPAは「4」になります。

\*全ての授業科目が60点台ならばGPAは「1」になります。

2018年度（平成30年度）からGPAに各科目の成績をより細かく反映させるためGPを以下のとおりに改定します。

2017年度（平成29年度）まで

評価	評点	GP
S	90点 ~ 100点	4
A	80点 ~ 89点	3
B	70点 ~ 79点	2
C	60点 ~ 69点	1
D	0~59点	0

2018年度（平成30年度）以降

評価	評点	GP
S	100点	4.5
	99点	4.4
	98点	4.3
	97点	4.2
	96点	4.1
	95点	4.0
	94点	3.9
	93点	3.8
	92点	3.7
	91点	3.6
A	90点	3.5
	89点	3.4
	88点	3.3
	87点	3.2
	86点	3.1
	85点	3.0
	84点	2.9
	83点	2.8
	82点	2.7
	81点	2.6
B	80点	2.5
	79点	2.4
	78点	2.3
	77点	2.2
	76点	2.1
	75点	2.0
	74点	1.9
	73点	1.8
	72点	1.7
	71点	1.6
C	70点	1.5
	69点	1.4
	68点	1.3
	67点	1.2
	66点	1.1
	65点	1.0
	64点	0.9
	63点	0.8
	62点	0.7
	61点	0.6
D	60点	0.5
	0~59点	0

〈GPA計算例〉 2018年度（平成30年度）から

	成績評価	評点	GP	授業科目の単位数	GP×単位数
科目1	S	100点	4.5	2	9
科目2	A	85点	3.0	2	6
科目3	B	73点	1.8	2	3.6
科目4	C	60点	0.5	2	1
科目5	D	56点	0	2	0
科目6	失格	なし	0	2	0
合 計				12	19.6
			GPA	1.63 (=19.6 ÷ 12)	

成績発表	成績発表日は掲示で連絡します。
追試験	<p>公欠の理由（病気・事故・忌引・就職試験等）によって定期試験を受験できなかつた場合に実施します。</p> <p>事前に電話などで連絡の上、受験できなかつた理由を証明する書類（診断書・証明書）等を添えて教務課に申込んでください。就職試験の場合は、教務課に事前に申し出て所定の手続きを行ってください。追試験の成績の上限は100点です。</p> <p>追試験を受験するには追再試験申込期間中に受験申込をする必要があります。</p>
再試験	<p>定期試験不合格者に対して実施します（受験料2,000円）。ただし、不正行為によって不合格になった場合には実施しません。再試験の成績の上限は60点です。</p> <p>再試験を受験するには追再試験申込期間中に受験申込をする必要があります。</p>
再履修	「不可」や「失格」または「不正行為による無効」など単位取得ができなかつた科目は、翌年度に再履修できます。

## 9 休学、復学、退学、再入学の手続きについて

休学手続	<p>やむを得ない理由で休学を希望する場合は、ゼミナール担当教員によく相談の上、保証人連署の「休学願」を教務課に提出してください。尚、休学が許可された場合、休学期間の学費は無料となります。</p> <p>1) 休学願提出期限</p> <p>① 1年間又は前期のみの休学……………3月末日迄 ② 後期のみの休学……………9月末日迄</p> <p>2) 休学期間</p> <p>①休学期間は1年以内です。但し、入院などの特別な理由がある場合には、1年を限度として休学期間を延長することができます。その際、医師の診断書等が必要となります。 ②休学期間は通算して3年を越えることはできません。</p>
復学手続	休学者が復学をする場合は、休学期間満了時に「復学願」を教務課に提出してください。尚、復学が許可された場合の年次は、休学前と同一年次（元の学年）となります。
退学手続	やむを得ない理由で退学を希望する場合は、ゼミナール担当教員によく相談の上、保証人連署の「退学願」を教務課に提出してください。退学期日には必ず学生証を返却してください。
再入学手続き	<p>やむを得ず退学し、再入学を願い出た場合には事情を審査の上、再入学を許可することがあります。</p> <p>「再入学願」の提出期間は原則として退学した日から2年以内です。また、再入学できる時期は学年の初めになります。尚、再入学が認められた場合、入学金、授業料、施設費を納める必要があります。</p>

## 10 休講・補講

- (1) 休講・補講及び臨時の時間割変更は掲示によって連絡しますので、掲示板に注意してください。
- (2) 授業開始時刻を過ぎても授業が始まらない場合は、必ず教務課に問い合わせてください。

## 11 欠席・公欠届

欠席届	授業を欠席する場合は、「欠席届」を提出してください。体調不良、風邪等で医療機関を受診した場合は、医療機関の領収書または診断書のコピーを添付してください。（「欠席届」は事前でも事後でも可。）1週間以内に届けのないものは認めません。
公欠届	授業を欠席した事由が、本学が認めた事由に該当する場合、「公欠届」を提出することにより、公欠として認められる場合があります。公欠が認められた欠席については、欠席数に算入されませんが、出席になるということではありません。

### 公欠届に記載されている理由

理 由	添付書類等	備 考
1. 忌引 続柄（　　）	死亡診断書又は会葬礼状 (コピー可)	* 1
2. 伝染病（学校保健安全法施行規則第18条）	医師診断書（原本提示）	* 2 / * A
3. 天災	自治体発行の証明書	* 3
4. 公共交通機関の事故・ストライキ	交通機関発行の証明書	* 4
5. 裁判員に指名	公的な証明書	* 5
6. 学校代表としての行事・公式大会	依頼書、開催要項等の書類	* 6
7. 就職活動における試験日	就職支援室所定用紙	* 7
8. その他大学が必要と認めた場合	関係書類	* 8

#### 【備考】

\* 1 父母、配偶者の場合=連続した7日を上限。

祖父母、兄弟姉妹の場合=連続した3日を上限。おじ、おばの場合=1日を上限。

祖父母、兄弟姉妹、おじ、おばが遠隔地の場合は上記日数に2日を加算して認める。

保護者死亡の場合で保証人変更の場合は保証人変更届も提出する。

\* 2 伝染病により異なるが、罹患してから治癒するまでの期間及び医師の登校許可が出るまでの日

\* 3 最大2週間

\* 4 最大1日、半日の場合もある。

\* 5 候補者手続きで裁判所に行った場合は半日、裁判員として選任され裁判に参加した場合は3日程度。

\* 6 行事は原則1日、公式大会等は最大開催期間。

\* 7 就職試験日のみ1日。就職支援室の所定用紙を利用。

\* 8 原則最大1日

上記理由の1～4までは事由発生後1週間以内に提出。5～8は事前に提出すること。

提出先は、7は就職支援室に、その他は教務課に提出すること。

上記理由以外で休む場合は別の「欠席届」を教務課に提出すること。

**上記理由での公欠回数が該当講義の1／3以上となる場合、それ以上の公欠を認めない。**

\* A 第一種伝染病：エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る）、中東呼吸器症候群（病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る）及び特定鳥インフルエンザ

第二種伝染病：インフルエンザ（特定鳥インフルエンザを除く）、百日咳せき、麻しん、流行性耳下腺炎、風しん、水痘、咽頭結膜熱、結核及び髄膜炎菌性髄膜炎

第三種伝染病：コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎その他の感染症

条件によっては出席停止の措置が必要とされる疾患：溶連菌感染症、ウイルス性肝炎、手足口病、りんご病、ヘルパンギーナ、水いぼ、とびひ、マイコプラズマ感染症、流行性嘔吐下痢症、アタマジラミ

## 12 学びあれこれ

アカデミック・アドバイザー制度	ゼミナール担当教員がアカデミック・アドバイザーとして、学生とマンツーマンで相談にのったり、指導したりします。皆さんのが所属する「ゼミナール」の担当教員が定期的に、履修登録に関する相談や指導・履修状況等を考慮しながらの学修相談や学修指導・キャンパスライフに関する相談やサポート等を実施します。学修以外の進路や将来のこと、アルバイトや課外活動、一人暮らしのことなど、気軽にゼミナール教員に相談しましょう。																					
オフィス・アワー	オフィス・アワーとは、全教員が指定の曜日・時限に在室し、学生からの学業や学生生活全般の相談に応じる時間帯です。各教員は、快く、気軽に相談に乗りりますので、この時間を積極的に活用してください。																					
単位互換	<p>大学の枠を越えた多様な学習を可能にするために、他の大学の授業を履修した単位を本学で履修した単位と見なして卒業要件に加える制度です。本学は長岡技術科学大学、長岡造形大学、長岡崇徳大学、長岡工業高等専門学校と単位互換を行っています。</p> <p>他大学の学生との交流や、図書館・カフェテリア・ブックストアなどの施設も利用できます。</p> <p>長岡技術科学大学【工学分野】 長岡造形大学【造形分野】 長岡崇徳大学【看護分野】 長岡工業高等専門学校【工学分野】</p>																					
資格取得支援センター(COS)	<p>資格取得に関する様々な相談に対応します。また、資格直前対策講座や書籍の貸し出しを行い、みなさんが万全の体制で資格試験に挑戦できるようにサポートします。</p> <p>設置場所：長岡大学1号館1階 事務室奥 開室時間：大学開講日8:30～17:00</p>																					
ラーニングコモンズ	<p>主体的に共同学修する場です。グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションの練習ができる場としても活用できます。ゼミや授業等で使用していない場合は、学習したり、休憩・飲食することも可能です。</p> <p>利用可能時間：月曜～金曜 9:00～19:00 土曜日 9:00～16:00</p> <p>利 用 方 法：原則として授業や予約が入ってなければ自由に使用できます。 文房具や下記の設備の貸し出しあります。 ※大型ディスプレイを使用する場合は、事務室で手続きを行ってください。</p> <p>相 談 窓 口：教務課</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>場所</th> <th>設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ラーニングコモンズ1A (LC1A)</td> <td>1号館3階東側 (LC1内、手前の部屋)</td> <td>・PC ・プリンター</td> </tr> <tr> <td>ラーニングコモンズ1B (LC1B)</td> <td>1号館3階東側 (LC1内、奥の部屋)</td> <td>・大型 ディスプレイ</td> </tr> <tr> <td>ラーニングコモンズ2 (LC2)</td> <td>1号館3階西側 (地域連携研究センター隣)</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラーニングコモンズ3 (LC3)</td> <td>1号館3階西側 (ラーニングコモンズ2隣)</td> <td>・大型 ディスプレイ</td> </tr> <tr> <td>ラーニングコモンズ4 (LC4)</td> <td>1号館図書館内2階奥</td> <td></td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1号館3階ギャラリーの自動販売機付近</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		場所	設備	ラーニングコモンズ1A (LC1A)	1号館3階東側 (LC1内、手前の部屋)	・PC ・プリンター	ラーニングコモンズ1B (LC1B)	1号館3階東側 (LC1内、奥の部屋)	・大型 ディスプレイ	ラーニングコモンズ2 (LC2)	1号館3階西側 (地域連携研究センター隣)		ラーニングコモンズ3 (LC3)	1号館3階西側 (ラーニングコモンズ2隣)	・大型 ディスプレイ	ラーニングコモンズ4 (LC4)	1号館図書館内2階奥		その他	1号館3階ギャラリーの自動販売機付近	
	場所	設備																				
ラーニングコモンズ1A (LC1A)	1号館3階東側 (LC1内、手前の部屋)	・PC ・プリンター																				
ラーニングコモンズ1B (LC1B)	1号館3階東側 (LC1内、奥の部屋)	・大型 ディスプレイ																				
ラーニングコモンズ2 (LC2)	1号館3階西側 (地域連携研究センター隣)																					
ラーニングコモンズ3 (LC3)	1号館3階西側 (ラーニングコモンズ2隣)	・大型 ディスプレイ																				
ラーニングコモンズ4 (LC4)	1号館図書館内2階奥																					
その他	1号館3階ギャラリーの自動販売機付近																					

就職力形成支援	インターンシップ	実践的なビジネス能力を養成するために、大学在学中に企業で行う実務研修です。 インターンシップ経験者は即戦力となるビジネス能力を修得しており就職率も極めて高いため、現在では有効な就職活動として広く普及しています。
	実践的キャリア形成	企業講師を招き、より実践的な講義をしていただきます。
	就職スキル	就職活動に向けた準備をするための講義で、本学の講義では「キャリア開発III-1、III-2」などが対応科目です。
	資格取得	講義や対策講座で資格取得を目指します。
S A	Student Assistant の略称。  教員の指示に基づいて教育補助業務を行う学生です。学力・適正・向上心・マナーなどを評価基準にして選考した学生に委嘱します。教員とS Aがチームとなって教育することで、多面的できめ細やかな個別指導が行えます。またS Aを務めることによって「人に教える」ことの難しさを理解し、指導能力を修得することでS A自身の能力も飛躍的に向上します。	

### 13 科目ナンバリングについて【学籍番号14K～19K】

授業科目に適切な番号を付して分類することで、学修の段階や順序等を表し、教育課程の体系性を示す仕組みです。

番号付与の原則等は下記になります。

2014カリキュラム【学籍番号14K～19K】						
ナンバリング	1	1	1	001	—	14 100
	A	B	C	D	E	F
A 科目大区分表示	1	教養科目	2	ゼミナール科目		
	3	専門科目				
B 科目小区分表示	0	キャリア科目	1	語学科目		
	2	情報科目	3	一般教養科目		
	4	体育科目	5	教養特別科目		
	6	ゼミナール科目	7	基礎科目		
	8	専門特別科目	9	コース推奨科目		
C 配当学年表示	1	1年	2	2年		
	3	3年	4	4年		
	5	全学年				
D 一覧番号	001	～				
E 西暦下2桁	14	(2014)				
F コース別推奨科目 番号表示	0	コース推奨なし	1	現代経済コース（地域経済重視型）		
	2	現代経済コース（国際経済重視型）	3	経営戦略コース		
	4	生活環境・医療・福祉コース	5	消費生活・マーケティングコース		
	6	事務会計コース	7	情報ビジネスコース		
	8	全コース共通推奨科目				
最大3コース。 コースが1つか2つの場合は0がある。						
3コース例 経済政策 3 9 3 111 — 14 124						
2コース例 金融論 3 9 2 069 — 14 120						
1コース例 簿記入門1 3 9 1 060 — 14 600						

## 14 シラバス内の科目特性の記載内容について

### 地域志向科目

地域志向科目とは、「地域の実態把握、現場・企業の体験および地域課題解決等を行う授業科目」です。

次の科目を地域志向科目として、設定しています。

年次	科目名
1 年次	ボランティア論、ボランティア体験、経済・経営の現場を知る 1、経済・経営の現場を知る 2
2 年次	起業家塾、地域活性化プログラム、現場体験プログラム、地域経営、地域活性化論
3 年次	ゼミナールⅢ、インターンシップ、地域福祉論、地域経済論、地域分析、地域産業政策
4 年次	ゼミナールⅣ

### アクティブラーニング(AL)

ALとは、「大学の授業における、学生の参加型・能動型学修を行う科目」です。

そのALは、次の3つの形態=類型に分けられます。

AL 類型	内 容
知識定着・確認型AL	知識の定着・確認を目的としたAL。質問・コメントペーパー、小テスト（授業中）・小レポート、フィードバック、振り返り等。
協同学修型AL	知識や意見を相互発信する協同学修によって知識を深掘りし、幅広い知識や多様な視点の獲得を図ることを目的としたAL。教養・専門科目等の「知識定着・確認型AL」で定着した知識を協同学修によってさらに発展させ、社会人基礎力の醸成も図る。グループワーク、ディスカッション、ブレーンストーミング、ディベート、プレゼンテーション、演習・実習等。
課題解決型AL	知識の高度な活用を目的としたAL。「協同学修型AL」で発展させた知識を課題解決のために活用させ、さらなる社会人基礎力の強化を図る。課題探求等学修、フィールドワーク、ケースメソッド、PBL等。

### 外部講師招聘科目

外部講師招聘科目とは、「大学に専門家講師等を招聘して主として地域に関連する授業を行う科目」です。

この授業を通して、社会における現場感覚および知識を身に付けることを目的としています。

### 卒業認定・学位授与の方針(ディプロマ・ポリシー)

「1.はじめに 長岡大学“三つの方針”」参照

### 資格対応科目

資格対応科目とは、「資格を取得するための対策にもなる授業を行う科目」です。

各科目の授業計画（シラバス）にある「授業の狙い・概要」に対応している資格が記載しております。

## 資格対応科目

### «情報系資格»

資格名	1年	2年	3年	4年
Word文書処理技能認定試験 3級	コンピュータリテラシー1			
Word文書処理技能認定試験 1・2級		文書処理ソフト利用技術		
Excel表計算処理技能認定試験 3級	コンピュータリテラシー2			
Excel表計算処理技能認定試験 1・2級		表計算ソフト利用技術		
PowerPointプレゼンテーション技能認定試験 初・上級		プレゼンテーションソフト利用技術		
ネットマーケティング検定	インターネット概論			
ドットコムマスター	ネットワークリテラシー			
Webクリエーター能力認定試験スタンダード			情報ビジュアルデザイン	
I T パスポート		コンピュータネットワーク1 情報システムの基礎1 情報処理の基礎1	コンピュータネットワーク2 情報システムの基礎2 情報処理の基礎2	

### «専門系資格»

資格名	1年	2年	3年	4年
日商簿記 初級	簿記入門1			
日商簿記 3級	簿記入門1・2	初級簿記演習		
日商簿記 2級	中級簿記演習	商業簿記1・2 工業簿記1・2		
日商簿記 1級	上級簿記演習		財務会計1・2 原価計算1・2	
建設業経理士検定 2級		商業簿記1 工業簿記1		
リテールマーケティング 3級（販売士）	流通論入門 マーケティング入門	マーケティング1 商品学入門 初級販売士演習		
リテールマーケティング 2級（販売士）	中級販売士演習	ロジスティクス 商品学 販売管理	流通論 マーケティング2 販売戦略	
リテールマーケティング 1級（販売士）	上級販売士演習			
消費生活アドバイザー			消費者の法律1 消費者問題1	
ファイナンシャルプランニング技能士 3級			生活経済論1	
ファイナンシャルプランニング技能士 2級			生活経済論2	
eco検定(環境社会検定)	環境と社会1 環境と社会2			
福祉住環境コーディネーター 3級		住環境福祉論1		
福祉住環境コーディネーター 2級		住環境福祉論2		
経営学検定初級（マネジメント検定）	経営学	現代経営 マネジメント2	初級経営学演習	
経営学検定中級（マネジメント検定）			中級経営学演習	
経済学検定試験(EREミクロマクロ)	マクロ経済学 ミクロ経済学	マクロ経済学演習 ミクロ経済学演習		
医療事務管理士			保険請求論 医療事務演習1・2 医学概論	
TOEIC 公開テスト Listening & Reading	英語I TOEIC対策講座	英語II	英語III	
実用英語検定	実用英語検定対策講座1 実用英語検定対策講座2			
「ハングル」能力検定試験 5級	韓国語I			
「ハングル」能力検定試験 4級		韓国語II		
中国語検定試験 準4級	中国語I			
中国語検定試験 4級		中国語II		
日本語能力試験 N2	日本語I	日本語II		
日本語能力試験 N1			日本語III	
社会福祉主事任用資格	法学 心理学 社会学	社会福祉概論	地域福祉論 社会調査法 労働経済学 経済政策	
公務員対策	公務員試験対策講座1 公務員試験対策講座2			

## 2014カリキュラム

【コース】◎は選択必修科目、○は選択科目、△は選択選択科目、●は選択必修科目、◆は選択必修科目

大区分	小区分	科目名	担当教員	学年	学期	配当年次	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー	
							現	経	生	消費	事務	現	経	生	消費	事務
英語 I	キヤリア開発Ⅰ	石川 英樹	1 石川 英樹	前 1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◆◆	◆◆
英語 II	キヤリア開発Ⅱ－1	広田 秀樹	1 石川 英樹	後 2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆◆	◆◆
英語 III	キヤリア開発Ⅱ－2	吉川 宏之	1 吉川 宏之	前 3	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆◆◆◆	◆◆◆◆
英語 I	キヤリア開発III－1	A:ホーリー エドワーズ B:広田 秀樹 C:閑 義夫 D:閑 義夫	1 A:ホーリー エドワーズ B:広田 秀樹 C:閑 義夫 D:閑 義夫	後 1	通	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◆◆◆◆	◆◆◆◆
英語 II	キヤリア開発III－2	A:羽賀 ローリー <sup>※</sup> B:閑 義夫 C:広田 秀樹 D:閑 義夫	2 A:羽賀 ローリー <sup>※</sup> B:閑 義夫 C:広田 秀樹 D:閑 義夫	前 3	指定	2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◆◆◆◆	◆◆◆◆
英語 III	英語 I	A:梅田 周 B:白 雪晴 C:白 雪晴	2 A:梅田 周 B:白 雪晴 C:白 雪晴	通	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆◆◆◆	◆◆◆◆
中国語 I	中国語 I	A:梅田 周 B:白 雪晴 C:白 雪晴	2 A:梅田 周 B:白 雪晴 C:白 雪晴	通選択	2	通	1	○	○	○	○	○	○	○	◆◆◆◆	◆◆◆◆
中国語 II	中国語 II	梅田 周	2 梅田 周	通	2										◆◆	◆◆
中国語 III	中国語 III	白 雪晴	2 白 雪晴	通	3										◆◆	◆◆
韓国語 I	韓国語 I	權 五景	2 權 五景	通	1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	◆◆	◆◆
韓国語 II	韓国語 II	權 五景	2 權 五景	通	2										◆◆	◆◆



## 2014カリキュラム

【学期】学期の後に②(は週2時限、指定=クラス指定、選択=必修科目)、○(は選択科目、△(は選択科目、●(は選択必修科目)、◆(は選択必修科目)、◎(は選択科目、△(は選択科目)は選択科目、●(は選択必修科目)は選択必修科目、緑掛け印はコース推奨科目

大区分	小区分	科目名	担当教員	単位	学年	学期	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマカリュ				
							現代経済	消費生活・環境	現代経済	消費生活・環境	現代経済	消費生活・環境	現代経済	消費生活・環境	①職業人として通用する能力	②専門的知識・技能を活用する能力	③コミュニケーション能力	④コミュニケーション能力	⑤情報収集・分析能力
特別教養科目	ゼミナル	日本事情(留学生科目)	村越 真紀	2	通	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅠ	ボランティア論	米山 宗久	2	前	1	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
		ボランティア体験	米山 宗久	2	集中	1	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅡ	グローバルスタディ1	(休講)	2	集中	1-4	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
		グローバルスタディ2	(休講)	2	集中	1-4	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅢ	グローバルスタディ3	(休講)	2	集中	1-4	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
		ゼミナルスタディ4	(休講)	2	集中	1-4	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅣ	ゼミナルⅠ前	複数人	1	後	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
		ゼミナルⅠ後	複数人	1	前	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅤ	ゼミナルⅡ	複数人	2	通	2									◆	◆	◆	◆	◆
		ゼミナルⅢ	複数人	2	通	3									◆	◆	◆	◆	◆
ゼミナル	ゼミナルⅥ	ゼミナルⅣ	複数人	2	通	4									◆	◆	◆	◆	◆
		ゼミナルⅦ	複数人	2	後	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	経営・経営の現場を知る1	栗井 英大	2	前	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
		経営・経営の現場を知る2	生島 義英	2	前	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	ミクロ経済学	鯛江 康正	4	前②	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
		マクロ経済学	牧野 智一	4	後②	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	都市経済学	鯛江 康正	2	前	2									◆	◆	◆	◆	◆
		地域経済学	鯛江 康正	2	後	2									◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	環境経済学	西俣 先子	2	後	2									◆	◆	◆	◆	◆
		経営学	栗井 英大	4	前②	1	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	現代経営	生島 義英	4	通	2									◆	◆	◆	◆	◆
		地域活性化プログラマム	栗井 英大	2	集中	2									◆	◆	◆	◆	◆
専門科目	基礎	インターンシップ	西俣 先子	2	集中	3									◆	◆	◆	◆	◆
		現場体験プログラマム	西俣 先子	1	集中	2									◆	◆	◆	◆	◆

## 2014カリキュラム

【コース】学期の後に②は週2時間、選択=クラス指定、選択=○は必修科目、●は選択科目、△は准必修科目、網掛け印はコース推進科目

専 門 科 目 名	小 区 分	大 区 分	学 期	当 年 次	配 当 教 員	単 位	授 業 内 容	担当教員	1年次	2年次	3年次	4年次	ディプロマポリシー				
									現 代 経 済 ( 地 域 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	①	②	③	④	⑤
									現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	現 代 経 済 ( 國 際 經 濟 重 視 型 )	専 門 的 知 識 ・ 技 能 を 活 用 す る 能 力	情 報 収 集 ・ 分 析 能 力	コ ミ ュ ニ ケ ト シ ヨ ン 能 力	力 力	力 力
文書処理ソフト利用技術	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	太田 恵子 秀樹 英大 一郎	前 2	後 2	前 2	△	△	△	△	△
マネジメント1	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 西俣 先子 高島 幸成	丸山 一郎 栗井 英大 武本 隆行 和田 智美	前 2	前 2	前 2	△	△	△	△	△
マーケティング入門	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	栗井 英大 武本 隆行 和田 智美	後 1	△	△	△	△	△	△	△
マクロ経済学演習	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	通 2	△	△	△	△	△	△	△
マクロ経済学演習	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	通 2	△	△	△	△	△	△	△
企業論	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	通 2	△	△	△	△	△	△	△
金融論	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	通 2	△	△	△	△	△	△	△
統計学1	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	前 2	△	△	△	△	△	△	△
文書処理ソフト利用技術	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	前 2	△	△	△	△	△	△	△
マネジメントソフト利用技術	国際経済学	地域経営	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	国際経済学	高梨 俊彦 坂井 一貴 西俣 先子 高島 幸成	坂野 智一 牧野 智一 太田 恵子 広田 秀樹 栗井 英大	前 2	△	△	△	△	△	△	△

## 2014カリキュラム

【コース】学期の後に②)は週2時間、指定=クラス指定、選択=必修科目、○は準必修科目、●は選択科目、網掛け印はコース推奨科目

大区分		小区分		科 目 名	担当教員	学 期	単 位	配 当 年 次	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー	
必修	選択	必修	選択						必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択	必修	選択
○	○	○	○	情報セキュリティ概論	吉川 宏之	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	社会問題と政策 (休講)	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	環境社会演習 1	(休講)	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	社会福祉概論	米山 宗久	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	住環境福祉論 1	米山 宗久	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	生活経済論 1	山川 智子	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	初級簿記演習	喬 雪氷	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	商業簿記 1	中村 大輔	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	工業簿記 1	中村 大輔	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	会計学 1	中村 大輔	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	商品学入門	武本 隆行	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	初級販売士演習	栗井 英大	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	マーケティング 1	武本 隆行	2	前	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	ロジスティクス	武本 隆行	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	中小企業金融論	(休講)	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	財政学	牧野 智一	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	経済統計学 2	太田 恵子	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	計量経済学	太田 恵子	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	マネジメント 2	(休講)	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	企業経営研究	栗井 英大	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	表計算ソフト利用技術	A:高梨 俊彦 B:西俣 先子 C:高島 幸成	4	後②	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆
○	○	○	○	コンピュータネットワーク 1	山川 智子	2	後	2	△	△	△	△	△	△	△	△	◆	◆

## 2014カリキュラム

【学期】学期の後に②は週2時間、指定=クラス指定、●は選択必修科目、○は選択科目、△は選択必修科目、◎は選択必修科目、□は選択必修科目、○は選択必修科目、△は選択必修科目

専 門 科 目	大 区 分	小 区 分	科 目 名	担当教員	単位	学 期	配当年次	1年次	2年次	3年次	4年次	ディプロマポリシー	
								現 代 經 濟	現 代 經 濟	現 代 經 濟	現 代 經 濟	① 地 域 社 会 に 貢 献 す る 姿 勢	
								生 活 環 境 、 医 療 ・ 福 祉	生 活 環 境 、 医 療 ・ 福 祉	生 活 環 境 、 医 療 ・ 福 祉	生 活 環 境 、 医 療 ・ 福 祉	② 職 業 人 と し て 通 用 す る 能 力	
情報システムの基礎1	山川 智子	2	後	2				△	△	△	△	◆	392098-14700
情報処理の基礎1	村山 光博	2	後	2				△	△	△	△	◆	392099-14700
プログラミング	村山 光博	2	後	2				△	△	△	△	◆	392100-14700
環境社会演習2	(休講)	2	後	2				△	△	△	△	◆	392101-14400
住環境福祉論2	米山 宗久	2	後	2				△	△	△	△	◆	392102-14400
生活経済論2	山川 智子	2	後	2				△	△	△	△	◆	392103-14500
商業簿記2	中村 大輔	2	後	2				△	△	△	△	◆	392104-14600
工業簿記2	中村 大輔	2	後	2				△	△	△	△	◆	392105-14600
会計学2	中村 大輔	2	後	2				△	△	△	△	◆	392106-14600
販売管理	丸山 一郎	2	後	2				△	△	△	△	◆	392107-14500
商品学	武本 隆行	2	後	2				△	△	△	△	◆	392108-14500
地域活性化論	栗井 英大	2	後	2				△	△	△	△	◆	392109-14000
ビジネス英語	太田 恵子	4	通	3				△	△	△	△	◆	393109-14200
地域分析	鯨江 康正	2	後	3				△	△	△	△	◆	393110-14100
経済政策	太田 恵子	2	前	3				△	△	△	△	◆	393111-14124
日本経済論	広田 秀樹	2	前	3				△	△	△	△	◆	393112-14120
労働経済学	石川 英樹	2	後	3				△	△	△	△	◆	393113-14140
人の資源管理1	生島 義英	2	前	3				△	△	△	△	◆	393114-14300
財務戦略1	栗井 英大	2	前	3				△	△	△	△	◆	393115-14300
中小企業論	権 五景	2	前	3				△	△	△	△	◆	393116-14300
企業経営史	丸山 一郎	2	前	3				△	△	△	△	◆	393117-14300
初級経営学演習	生島 義英	2	後	3				△	△	△	△	◆	393118-14300
コンピュータネットワーク2	吉川 宏之	2	前	3				△	△	△	△	◆	393119-14700

## 2014カリキュラム

[コース] ◎は必修科目、○は選択必修科目、●は選択科目、網掛け印はコース推奨科目

		大区分	小区分	科 目 名	担当教員	学 期	単 位	配 当 年 次	1年次		2年次		3年次		4年次		ディプロマポリシー		
①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	⑤	①	②	③	④	
◎	◎	◎	◎	◎	吉川 宏之	2	前	3	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393120-14700
情報処理の基礎2	村山 光博	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393121-14700
社会調査法	石川 英樹	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393122-14400
医学概論	山川 智子	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393123-14400
医療事務演習1	山川 智子	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393124-14400
地域福祉論	米山 宗久	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393125-14400
消費者の法律1	赤冢 浩一	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393126-14500
消費者問題1	赤冢 浩一	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393127-14500
原価計算1	中村 大輔	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393128-14600
財務会計1	喬 雪水	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393129-14600
管理会計	喬 雪水	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393130-14600
流通論	武本 隆行	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393131-14500
世界経済論	広田 秀樹	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393132-14120
アジア経済論	権 五景	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393133-14200
地域経済論	鯉江 康正	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393134-14100
地域産業政策	牧野 翔一	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393135-14120
地方行政	牧野 翔一	2	前	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393136-14120
人的資源管理2	生島 義英	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393137-14300
財務戦略2	栗井 英大	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393138-14300
産業史	権 五景	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393139-14300
中級経営学演習	(休講)	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393140-14300
情報ビジネスアルデザイン	高梨 俊彦	2	後	3					△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	393141-14700

## 2014カリキュラム

【コース】①は必修科目、○は選択必修科目、●は選択科目、△は選択科目、綴掛け印はコース推奨科目

			1年次			2年次			3年次			4年次			ディプロマポリシー		
			現代経済（国際経済）	現代経済（地域経済）	消費生活・マーケティング	現代経済（国際経済）	現代経済（地域経済）	消費生活・マーケティング	現代経済（国際経済）	現代経済（地域経済）	消費生活・マーケティング	現代経済（国際経済）	現代経済（地域経済）	消費生活・マーケティング	現代経済（国際経済）	現代経済（地域経済）	消費生活・マーケティング
			配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次	配当年次
			担当教員	学年	単位	担当教員	学年	単位	担当教員	学年	単位	担当教員	学年	単位	担当教員	学年	単位
38	専門科目	区分	西俣 先子 (休講)	2	前	山川 知子 (休講)	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	原価計算2	小区分	石川 英樹	2	後	金井 信雄	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	消費者問題2	大区分	赤塚 浩一	2	後	中村 大輔	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	財務会計2		喬 雪氷	2	後	喬 雪氷	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	推経営分析		馬 喬	2	後	馬 喬	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	マーケティング2		販売戦略	2	後	丸山 一郎	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	住環境福祉論演習		米山 宗久	2	前	中級簿記演習	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	中級簿記演習		喬 雪氷	2	前	上級簿記演習	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	上級簿記演習		武本 隆行	2	後	中級版土演習	2	後	3	後	3	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	上級版土演習		上級版土演習	2	後	公務員試験対策講座1	2	前	0	後	1-4	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	公務員試験対策講座2		山川 知子	0	後	公務員試験対策講座2	2	前	0	後	1-4	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	TOEIC検定対策講座1		羽賀 ローリー	0	通	実用英語検定対策講座1	0	前	0	前	1-4	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前
	実用英語検定対策講座2		太田 恵子	0	後	実用英語検定対策講座2	2	太田 恵子	0	後	1-4	西俣 先子 (休講)	2	前	西俣 先子 (休講)	2	前

なお、科目をコースに分けているが、これは学生が体的に学ぶのを助ける意味でコースごとに推奨科目を設置したものである。  
公務員試験対策講座1・2、TOEIC検定対策講座、実用英語検定対策講座などは単位は付かないが、上級資格取得の対策講座などで受講を薦める。